

## 案内

### STUDENT WEEK

今週はステューデント・ウィークとして全ての礼拝で、学生の中のクリスチャンの方々に証詞をしていただきます。証詞とは、その人がいつどのようにキリスト教信仰を持つようになったのか、キリスト教と出会う前と後では生き方がどのように変化したのかなどを、自分の言葉で語って伝えることです。

今年度は、以下のキリスト教推薦入学生の会、青山みどり会(教育人間科学部)、ピスティス(経済学部)、アポストレー(法学部)、イクサス会(経営学部)、エクレシア(総合文化政策学部)、サピエンティア(理工学部)、スタウロス(社会情報学部)に所属する学生と、理工学部のクリスチャンの学生1名の計9名が証詞をします。

また、1名のオルガニスト養成講座受講生に奏楽の奉仕をしていただきます。

### 青山学院クリスマス・ツリー点火祭 ～降誕を待ち望む礼拝～

イエス・キリストの降誕を待望する「待降節」を期して礼拝を行い、各キャンパスのクリスマス・ツリーに灯をともします。当日は授業を短縮して行います。

日時 11月28日(金) 青山キャンパス 17時50分～18時30分  
相模原キャンパス 16時40分～17時20分

### 大学聖歌隊クリスマス奉唱会

日時 12月6日(土) 18時開演  
場所 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂

### Art・クリスマス・Aoyama

会期 11月26日(水)～12月17日(水)  
テーマ 「インマヌエル」  
内容 本学院の幼稚園から大学院までの園児・児童・生徒・学生たちによるクリスマスにちなんだ美術作品の展示他、スタンプラリーやもみの木の飾りつけなどもあります。  
展示場所 短大ギャラリー、ガウチャー記念礼拝堂ロビー、本部ロビー 他。

### Wesley Hall News No.116 が発行されました。

各キャンパス宗教センター、礼拝堂で配布しています。ぜひお読み下さい。

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。堂内では、私語を慎み、静粛を保つよう心がけて下さい。
- 飲食物の持ち込みは禁止です。携帯電話の電源は必ず切って下さい。礼拝堂内では脱帽して下さい。
- 礼拝とは、前奏、讃美歌、聖書朗読、説教、祈り、後奏までを含んだものを言います。説教が終わったとたんに退席するなど、礼拝途中での出入りは慎んで下さい。

# 青山学院大学礼拝週報

2014. 11.24.

神の国節第24週

No. 27

ステューデント・ウィーク

## 教会史の人々 [12]

「マーティン・ルーサー・キング・ジュニア」  
Martin Luther King, Jr.(1929-1968)

マーティン・ルーサー・キング・ジュニアは、アメリカの黒人差別撤廃を求める公民権運動を指導した牧師として、世界的に名の知られた牧師です。キングの生涯の原点は、幼少年時代に受けた差別経験と、それを自然に反する人為的なものと受け止め、人間存在の素晴らしさを教えてくれた母親の信仰にありました。



キング・ジェームズ版英語聖書復刻版(宗教センター蔵)

キングはボストン大学神学部で博士号を取得後、アラバマ州モントゴメリのデクスター教会の牧師に就任しました。ほどなく一人の黒人女性の差別への抗議から始まった「モンゴメリー・バス・ボイコット運動」の中心的人物としてキング牧師は活動し、その精神的指導者となります。

彼の行動の中心にはイエス・キリストの愛の精神があり、その実践は終始「非暴力主義」によって担われました。愛こそが抵抗運動の基準であり、それは差別者である白人の良心をも動かすものであることをキングは強調しました。

その抵抗運動の中で、キング牧師は家族の命をもねらわれる脅迫や嫌がらせに晒されましたが、かえってそのことが非暴力抵抗への情熱をかきたて運動の勝利に繋がっていきました。キングは39歳で凶弾に倒れましたが、その愛に基づく非暴力抵抗の思想は今も現代社会に大きな希望と指針を与え続けています。

## 今年度の主題聖句

神から受けた純真と誠実によって

(コリントの信徒への手紙 二 第1章12節)